



10月

取

正月越 29日 土 30日 日



三州足助屋敷

三州足助屋敷

取越正月

悪疫の流行や天変地異が続くと、ときならず誰が始めるともなく、餅をつき、門松を立て、しめ縄を引き、服装を改めて正月礼に歩いたものが取越正月の始まり也

●お着物でお越しの方、お年玉（紅白餅）贈呈致し^{マス}□。（数量限定）

足助屋敷館内催し

コマ絵付け・和凧作り・羽子板
ワークショップ・釣りみくじ

< 限定販売 >

- ・屋敷手機織り木綿と紺屋草木染め生地の手縫い御守り
- ・瑠璃紺色取越正月手ぬぐい

インスタグラムで随時更新



東京都指定無形民俗文化財『江戸太神楽丸一仙翁社中（えどだいかぐら まるいちせんおうしゃちゅう）』

太神楽の起源は平安時代までさかのぼり、神社に伝わる「散楽」という曲芸がその源と言われております。

江戸太神楽・丸一仙翁社中は江戸時代から続く太神楽を代表する屋号のひとつで、四〇〇年の歴史があります。東京都指定無形民族文化財であり、十三代家元・仙翁を中心として、国内だけでなく海外でも公演活動を行い、太神楽の普及や後進の育成にも力を入っております。

豊田市無形民俗文化財『下山村（しもやまむら）三河万歳保存会』

昭和初期、羽布の有志が安城の指導者から受け継いだのが起源。

別所万歳系の御殿万歳で、当時は正月になると東京・静岡など関東各地にも出向き、年始めに幸福をもたらす来訪者として歓迎されました。

第二次世界大戦中には一時衰退しましたが、集落の若者を中心に保存会が結成され、伝承されております。

10月29日（土）

- 9:00 足助屋敷開館
- 10:00～ 「門付け」足助八幡宮→待月橋→栗の木茶屋
→香嵐溪広場→足助屋敷館内（各15分前後）
- 13:30～ 足助屋敷母屋前・餅つき、鏡餅作り
- 14:00～ // ・下山村三河万歳
- 14:30～ // ・江戸太神楽・門付け・曲芸
- 17:00 足助屋敷閉館

30日（日）

- 9:00 足助屋敷開館
- 10:00～ 「門付け」足助八幡宮→待月橋→栗の木茶屋
→香嵐溪広場→足助屋敷館内（各15分前後）
- 13:30～ 足助屋敷母屋前・餅つき、鏡餅作り
- 14:00～ // ・江戸太神楽・門付け・曲芸
- 17:00 足助屋敷閉館